

目 標 達 成 計 画

事業所名 社会福祉法人 大樹
グループホーム木だち

作成日 平成29年2月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の認知症に対する知識に差がある。特に1～2年目の職員に関しては認知症に対しての適切な対応が出来ていない部分がある。	職員一人一人が「認知症対応型共同生活介護」の意識を強く持ち、日々の業務にあたる。研修を多く取り入れ、認知症に対する知識を身に付ける。	(認知症ケア専門士を取得したスタッフを担当者として) 年間の研修計画に2度認知症に対する研修を組み込む。1～2年目の職員に対してスキルアップ研修参加を促す。	1年
2	4	町内会の方の意見として、現状西勝山町内会の方の入居が少ないのはなぜかと話があり。地域の方からの申込みも殆どない状況。地域に根付いているのか。	地域に貢献できる施設として認識してもらう。(西勝山区域にある同法人の2グループホーム、1特養が協力し合う)	毎月1度特養に場所を作りカフェを開催。地域の方が施設に入りやすい雰囲気を作るとともに、相談窓口になれるよう交流をもっていく。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。